

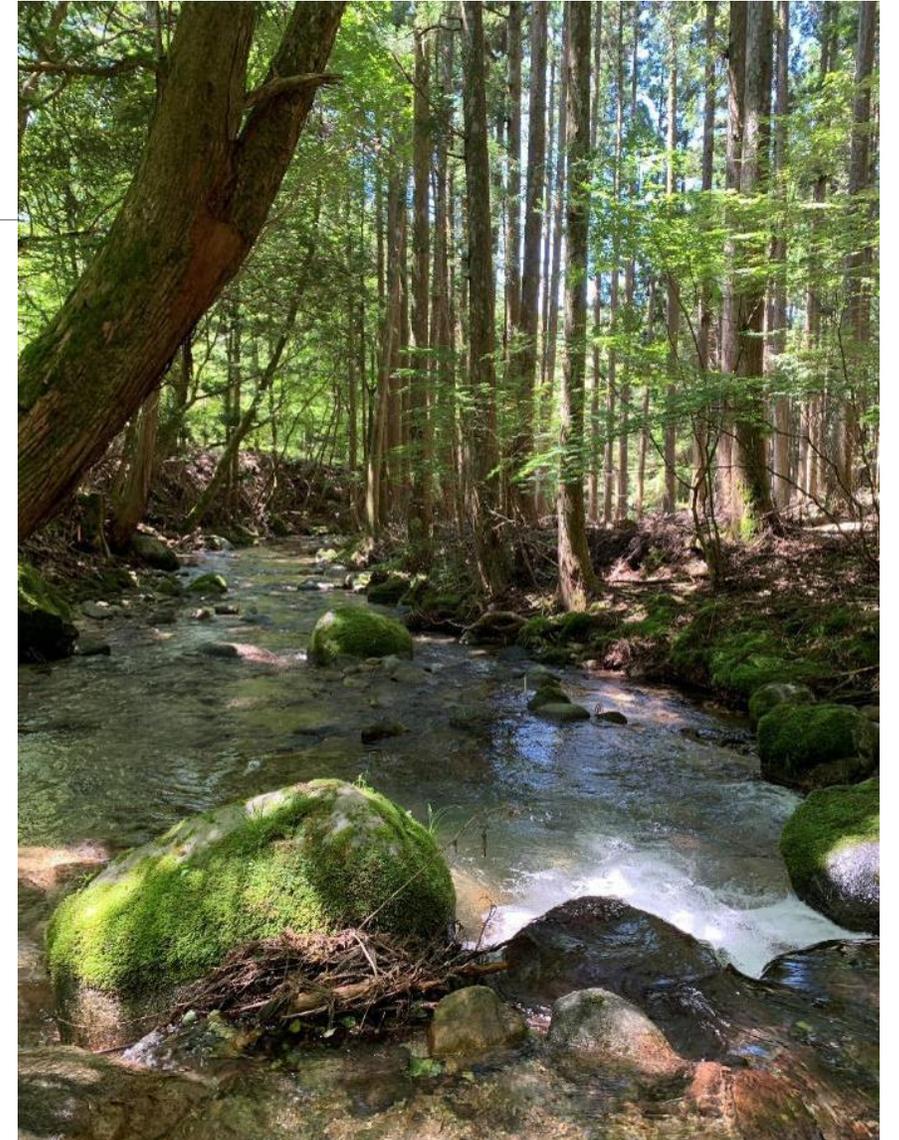
貯木場利活用を考えよう！
第20回アウトドアカレッジ
【報告資料】

アウトドアのまちしたら

設楽町は豊川、矢作川、天竜川の3つの水系の水源地です。

そこに住む人々は、古くから川を大切にし、山を育て、田畑を耕し、豊かな自然環境と共生した暮らしをしてきました。

「アウトドアのまちしたら」とは、設楽町での豊かな暮らしを未来へ繋いでいく取組です。



「アウトドア」とは？

「アウトドア」と聞くと、キャンプや登山、オリエンテーリングなどを想像されるかもしれませんが。

しかし設楽町では、アウトドアの本来の意味である「屋外」での活動すべてをアウトドアと考えます。

つまり、畑や田んぼでの農作業、草刈り、蜂ぼいやひなたぼっこなどもアウトドア活動です。

設楽町の暮らし＝アウトドア



アウトドアカレッジとは？

今ある地域資源、語り継がれる文化などを再認識し、設楽町での豊かな暮らしを未来につないでいくため、みなさんと一緒に考え、取り組んでいく場です。

これまでに、ダム湖周辺整備に関する意見交換会、焚火を囲んだ交流会、ワークショップなどを実施してきました。

毎月第3水曜日の19時～20時を基本に開催しており、どなたでもご参加いただけます。



貯木場利活用を考えよう！第20回アウトドアカレッジ

日時：令和7年3月19日(水) 19時～21時

場所：設楽町役場議場

参加者： 42名

テーマ：貯木場利活用を考えよう！

貯木場跡地の現状と利活用案に関する状況報告

ワークショップ 貯木場利活用の話し合い、まとめ、発表など

第20回アウトドアカレッジタイムスケジュール

19時00分 開会挨拶

19時05分 概要説明

会の目的、ゴールとルールの説明

貯木場跡地の現状と利活用案に関する状況報告

19時15分 ワークショップ(ワールドカフェ方式)

各グループごとにテーマを設定しディスカッション

20時15分 休憩

20時25分 各グループの意見まとめと発表準備

20時35分 発表、1グループ5分程度

20時55分 まとめ、次回案内など

21時00分 終了

貯木場跡地の現状と 利活用案に関する状況報告

貯木場利活用検討の基本的な方向性

- ・設楽町南の玄関口として集客を狙うこと
- ・公募や民間活力導入を積極的に行うこと
- ・南側に隣接する「西山団地の保安林の利活用」との連携を検討すること
- ・道の駅したらの第二駐車場を確保すること
- ・災害時に防災機能を発揮すること

設楽町の南玄関口として、道の駅「したら」をはじめ今後完成するダム湖や周辺施設が整備されることにより来訪者の増加が見込まれる。

利活用検討箇所①について



検討箇所①について、ご要望やご意見を無作為にヒアリングを実施。それらを集約してコンセプトイメージ案を作成。

コンセプトイメージ案

カフェ (商業)

防災機能 (行政)

チャレンジショップ (行政)

郵便局 (行政)

道の駅いさ

第2駐車場

デイサービス (福祉)

レストラン (商業)

物販店 (商業・農業)

広場 (公園)

アクセス

保安林事業 (観光)

宿泊施設 (観光)

レンタル畑 (農業)

チャレンジショップの事例
出典：中心市街地活性化協議会支援センターHP

宿泊施設のイメージ
出典：HOTEL R9 The Yard いなべHP

レンタル畑イメージ

図 2-20 設楽町『小さなまち』づくりチャレンジ全体イメージ図

次に、車の流れをよくすることを考慮し、道の駅したらと第2駐車場を結ぶ横断歩道部分を交差点化の検討実施。

交差点化対象位置及び現状

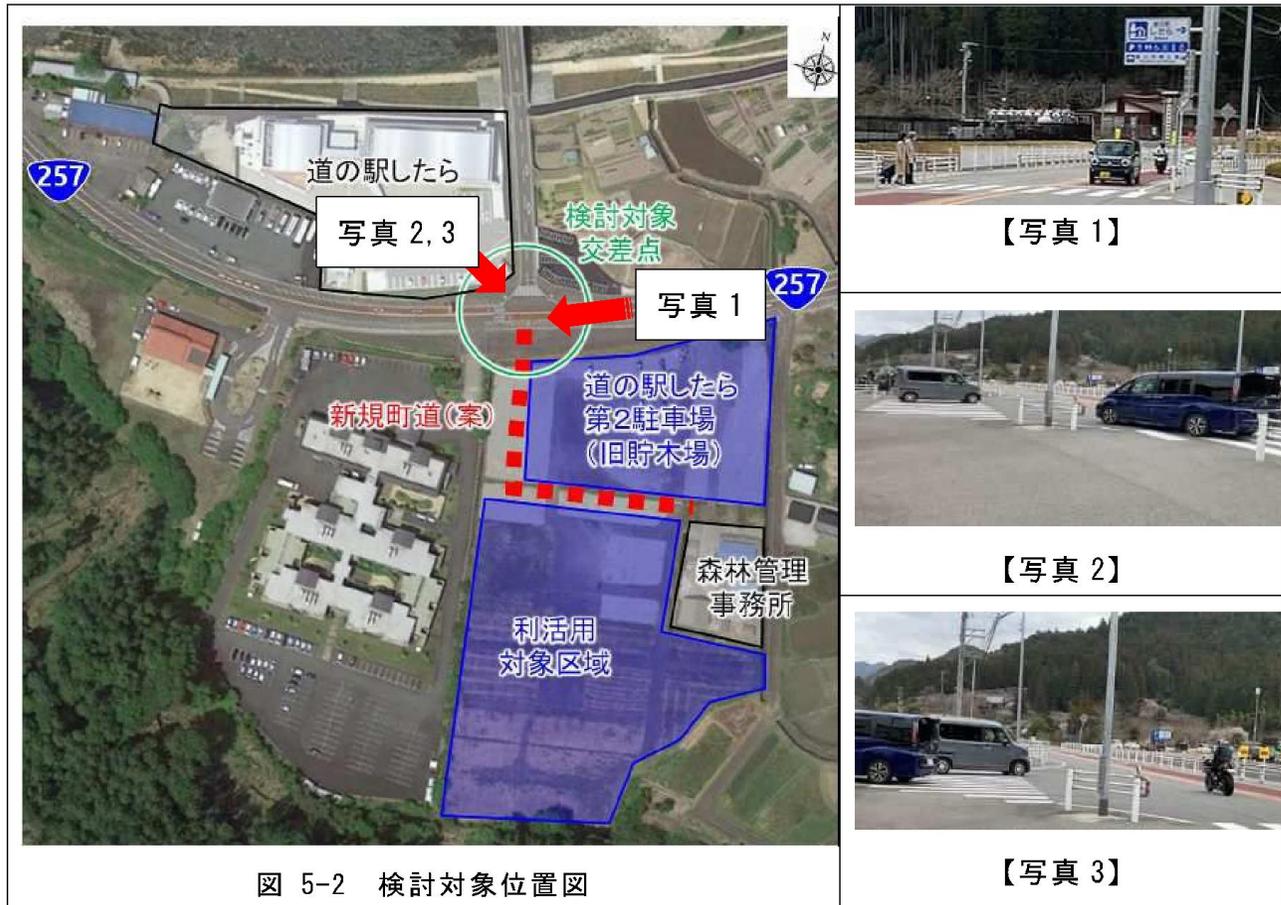


図 5-2 検討対象位置図

交差点化レイアウト案

設計条件

- ・森林管理事務所はコントロールポイントとして移動、改修の対象外とする。
- ・新規町道の規格 3 種 5 級 20 k m を想定
- ・道路幅は北の既存道路に合わせる。
- ・駐車台数は約 200 台



貯木場跡地の現状と利活用案に関する状況報告 まとめ

検討箇所①

- 貯木場跡地について、無作為抽出のヒアリングを実施
- 複数の事業者が利用することで、さまざまな機能を持たせることが可能
- 利活用にあたり、車の流れをよくすることも必要であると想定している

検討箇所②

- 町有地にするか、県有地のままにするかで可能な利活用方法が変わる
→利活用をするための方向性や課題は把握したが、具体案は定まっていない

みなさんは、どのように利活用するべきだと考えますか？

皆さん自身のため、地域のため、そして将来を担う子どもたちのために、どのように利活用するべきでしょうか？

ワークシヨツプ

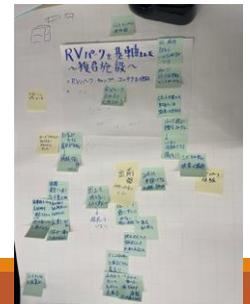
ワークショップの様子

参加者が貯木場利活用に関するテーマを出し、グループに分かれてディスカッションし、発表しました。

各グループのテーマと
意見やアイデア

Aグループ 滞在できる拠点

- 設楽の魅力は宿泊してこそわかるものだが、宿泊施設が少ない
- さまざまなものが集まった複合施設で、訪れる価値が必要
- こどもたちに山で遊ぶ機会を提供すると、自然を体験し学びにつながる、娯楽の提供にもつながる
- 地元の風土を汚さず、地域の人にも訪れてもらえるものであるべき
- こどもが利用する施設には大人(親)も訪れる
- 貯木場の跡地に入居、運営してくれる企業を見つける課題がある
- 人が滞在する場所にはお金が落ち、雇用が生まれ、結果的に地域の持続可能性が向上する
- 設楽町内だけでなく、外に目を向け、豊川流域など、広域的な視点を持って取り組む
- 設楽には1日過ごす場所がない、どこに行ったらいいかわからない(移住者の意見)
- RVパークであれば、ホテル建設より低コストで宿泊場所を作ることができる
- 宿泊して過ごすならお風呂は必須



Bグループ 子育て家族とお年寄りの憩いの場

- コンセプトが大事
- 多目的で全世代が使える場所
- お年寄りとこどもなど年代を超えてつながるエリア、人と人がつながる場所
- こどもを地域で育てる場所
- 何か施設を作るのではなく、自由に使える広いスペースは必要
- 現在、イベント会場として使用している実績がある
- 地元の人々が有効に使うことで、地域外にも発信できる
- 広いスペースを工夫して使う
- お年寄りにも遊びを
- 遊び方を工夫できる場所だと良い
- 保育園跡地も並行して考えていかないと



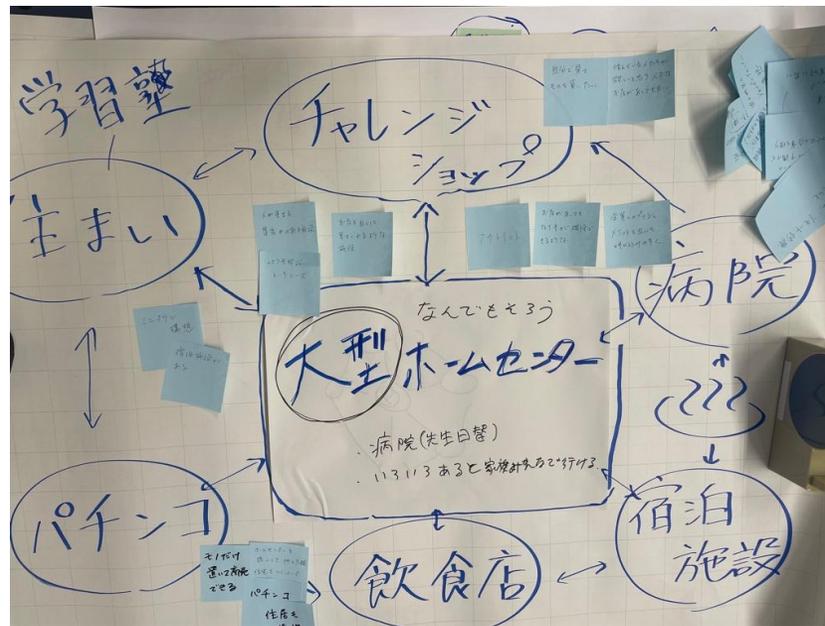
Cグループ 移住者を受け入れる住宅

- 移住者を受け入れるにもいろいろある(お試し住宅、町営住宅、トレーラーハウス、分譲地…)
- 貯木場跡地は周辺施設が充実していて立地が良い
- 都市部の移住希望者から人気のあるエリアになるのではないかな
- 遊びや体験などができる山村都市交流拠点施設が田口地区に建設される予定
- 貯木場跡地は、遊びではなく、住宅や暮らしにつながる使い方がいいのではないかな
- 分譲地がいい
- 住宅は、設楽町産材で地元事業者が建設するようにする
- 住まいの近くに、ドッグランや公園も必要
- 広い敷地なので住まいの配置が重要
- 周辺の保安林も有効活用(マウンテンバイク、バギー…)すれば、より魅力的な場所に



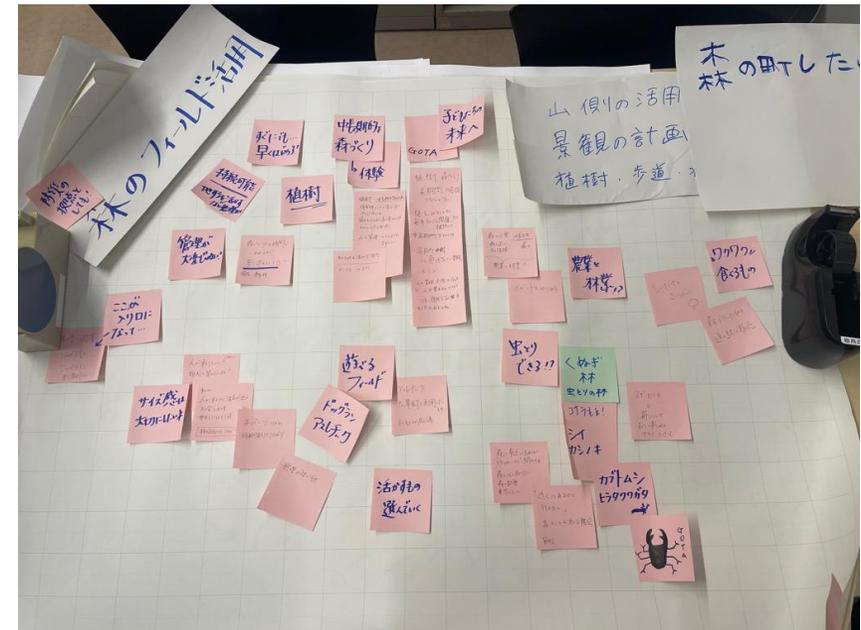
Dグループ 大型商業施設

- 設楽町外に出て手に入れているものが、町内で手に入ったら、生活の利便性が向上する
- お年寄りが町外に出て買い物するのが大変になる
- 特にホームセンターがあると生活が便利
- 自分の目で買うものを選びたい
- 人が集まる、集客力がある施設なら、いろんな企業が出店するのでは
- テナント形式にして、出店者をつのる
- チャレンジショップでいろんな人や企業が利用できるように
- 最終的には商業施設だけでなく、病院、風呂、飲食、住まいなどが集まる場になると良い
- ミニタウン構想



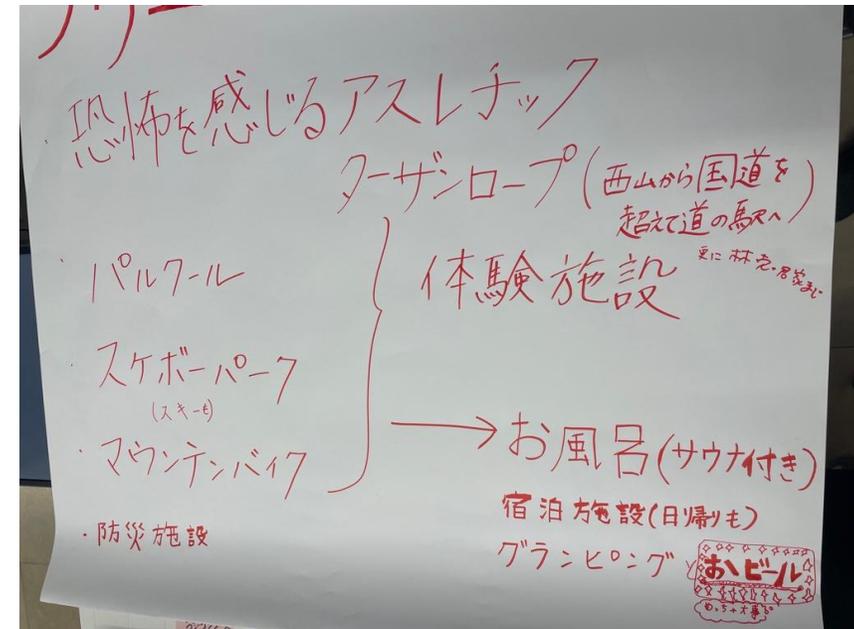
Eグループ 森のフィールド活用/森のまちしたら

- 貯木場跡地山側を活用して、香嵐溪に負けない景観をつくる
- 植樹、歩道整備などとしては
- 中長期的な森づくりに取り組んで、森にまつわる体験を提供していく
- 山の管理もPR次第で人が集まるのでは
- 遊べるフィールドとして使う
- 地形を生かすなど無理なく活用
- ここが入口になって清崎や田峯につながるもの



Fグループ フリー

- アスレチックなど、アウトドアスポーツの体験施設、遊んですごせると良い
- さまざまな活用案はあると思うが、防災施設として使いたい(防災倉庫の設置・・・)
- サウナ付きお風呂
- 宿泊施設
- グランピング



まとめ

- 利活用の方向性は、町内向け(住まいの確保、生活の利便性向上・・・)と町外向け(遊びや体験の提供・・・)に分けられる※重複する部分もある
- 多くの人を訪れる場所にするためには、複合的な機能を持たせる必要がある
- 住民が工夫しながら自由に使える広いスペースも必要
- 貯木場跡地に様々な機能を持たせるとして、どの部分に何を配置するのか検討しなければならない
- かならずしも何かを建設しなければいけないわけではない
- 利活用案を具体化させるために引き続きワークショップなどを実施する

今後の予定

- 第20回アウトドアカレッジで生まれたアイデアや意見をまとめ、貯木場跡地利活用に関する方針や利用イメージ図を作成
- 方針や利用イメージ図は、今後のアウトドアカレッジ(ワークショップ)で参加者とともに作り上げていく
- 具体化された方針やイメージをもとに、公募や民間活力導入を検討する

人と自然と繋がりを五感で感じる場

アウトドアアカレツジ

つながり、
はじまる。

設楽町での豊かな暮らしを
未来に繋いでいくために、
今ある地域資源、語り継がれ
る文化などを再認識します。
私たちの町に活気、愛着、
自信を！



○内容：ダム湖周辺整備・焚き火を囲む会 など

○スケジュール：第3水曜日 19:00～ ※zoomでも参加可能（月に1回程度開催予定）

主催 / 企画ダム対策課

問い合わせ先 / 企画ダム対策課：0536-62-0514

(kikaku@town.shitara.lg.jp)



◀開催情報はこちら